



委員会審査



総務産業建設常任委員会・文教厚生常任委員会・予算決算常任委員会及び
総合計画審査特別委員会において審査された内容の一部をご紹介します。

条例

議案第69号
鶴ヶ島市防犯のまちづくり推進
条例について

内容

市、市民、事業者などが一体となって、更なる防犯意識の維持、向上を図り、市民が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指すもの。

委員からの質疑

Q 市民の責務とは。

A 自らのことは、自らで守ることに加え、地域で行っている防犯活動に協力いただければと考えている。



防犯パトロールで防犯活動！

補正予算

議案第70号
【鶴ヶ島駅周辺まちづくり】
地域交流施設整備事業

事業内容

令和7年度に予定していた建設予定地測量業務を前倒しして実施するもの。

委員からの質疑

Q 今後のスケジュールは。

A 7年度には解体設計及び本体の基本設計、8年度には鶴ヶ島文化会館の解体工事を実施及び本体の実施設計を行う、9年度、10年度に建物の工事を行い、11年度からオープンを予定している。



鶴ヶ島文化会館

補正予算額

590万7,000円

設置！

総合計画審査特別委員会



第6次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）は、これからの鶴ヶ島市をどのようなまちにしていけるのかを描いた、まちづくりの指針となるものであるため、特別委員会を設置し、じっくり審査しました。

政策 1 安心して暮らせるまち

施策 3 こども・家庭への支援の充実

目指す姿

すべてのこどもや家庭の相談に対応し、切れ目のない、きめ細やかな支援を行うことによって、こどもたちが健やかに育つまちにする。

委員からの質疑

Q 現状の支援体制における課題は。

A 子育て家庭が抱える問題は複数の要因が複雑に絡み合っていることが多く、こどもの養育に関する相談や児童虐待の通告などの件数が増加傾向である。



安心して暮らせるまちへ

令和7年4月にこども家庭センターの開設を予定しており、増加する相談への対策の強化を図っていきたい。

政策 7 経営的視点に立った市政運営

施策 39 まちの魅力の共有とブランド化の推進

目指す姿 「住みやすさ」や「暮らしやすさ」などの鶴ヶ島のブランドイメージを確立し、市内外で共有することによって、まちのブランド価値を高め、鶴ヶ島に住むことが市民の誇りとなり、市内外の多くの人から選ばれるまちにする。

委員からの質疑

Q 本市のブランドイメージとは。

A 一例として挙げると、6つの市民センターや図書館、児童館などは近隣に比べ多く、また、3つの鉄道駅と2つのインターチェンジがあるほか、スーパーやドラッグストアなども多くあり、生活に便利なまちである。「住みやすさ」、「暮らしやすさ」が最大のブランドイメージであると考えている。



鶴ヶ島のブランドイメージは(市庁舎)